

コース以上回られた方全員
▼賞品 ペアで、リゾートホテル
のダイナー食事券&宿泊券のほ
か豪華賞品多数
チェックポイント(六カ所)

A:湯元 日光湯元ビクターセ
ンター(午前九時~午後五時※水
曜定休) ☎六二二二三二一

B:中宮祠 日光自然博物館(午
前九時~午後五時) ☎五五一〇
八八〇

C:清滝 やしおの湯(午前十時
~午後九時※木曜定休)

☎五三三六六一一

D:西町 日光木彫りの里工芸セ
ンター(午前八時三十分~午後
五時、※木曜定休) ☎五三一〇
〇七〇

E:東町 日光郷土センター(午
前九時~午後五時)

☎五三三三七九五

F:小来川 日光市役所小来川支
所(午前九時~午後五時※土日
祝休) ☎六三三三一一一

ウォークラリー

▼日程 二十九日(日)

▼会場 屋外リンク北側

▼内容 グループ(二~五名)で
参加してください。(子供だけ
の参加は認められませんので、
大人を一名いれてください。)

▼申込先 九月二十日(金)までに
市役所下水道課(☎五四一〇一
一一内線三九二)まで

「杉並木経営塾」 開講のご案内

日光地区商工会議所では「杉
並木経営塾」の受講生を募集し
ております。

期間 平成八年九月二十六日
(木)~平成九年三月二十六日(木)

対象 日光地区商工会議所
管内の小規模企業の経営者・
役員・後継者・幹部社員

定員 限定二十名(申し込み順)

受講料 一人五万円

申し込み方法 九月十一日ま
でに、申込書に記入の上、受
講料を添えて、日光地区商工
会議所(☎五〇一〇一七二)

第二回

日光セミナー開催

日時 平成八年九月二十五日
(水) 午後一時三十分~

場所 今市市文化会館

内容 基調講演 瀬島龍三氏
特別講演 渡辺文雄氏 パネ
ルディスカッション テーマ

「祭による地域の活性化」※
入場無料(当日は入場に限り
がありますので、お早めに申
し込みください。)

申し込み先 日光地区商工会
議所(☎五〇一〇一七二)

もう一度見直しましょう

あなたの防災対策

▼九月一日は「防災の日」で
す。二千メートル級の険しい山
脈の麓に生活する日光の住民
は、昔から自然災害と隣り合せ
の生活を営んできました。特に
「山崩れ」や「土石流」などの
土砂災害は、台風や長雨、集中
豪雨が原因の二次災害というば
かりでなく、山そのものの老齡
化による自然崩落も避け難く、
地元住民は過去にも幾度となく
大小の悲劇を体験してきました。

寛文二(一六六二)年、稲荷
川に発生した五百万mとも言わ
れる大規模な土石流は、かつて
外山(とやま)の麓の河川敷に
町並みを連ねていた旧稲荷町な
どを襲い、百四十人以上の死者
を出しました。現在の稲荷町
は、この時に生き残った人達が
新たに作り住んだ場所です。ま
た、天和三(一六八三)年に日
光が壊滅的な被害を受けた大地
震では男体山腹が大きく崩壊
し、大薮(おおなぎ)が生まれ
ました。

近代に入ってから明治三十五
(一九〇二)年と同三十九(一
九〇六)年の土石流や河川の氾
濫による想像を越えた大災害
は、歴史に残る出来事として現
在もなお語り継がれています。

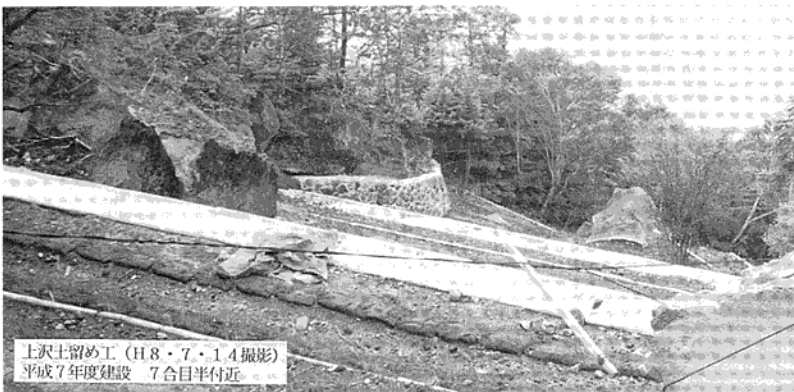
▼日光を代表する防災対策にあ
げられる砂防工事は、明治三十
年代に入って砂防先進国のオ
ストリアに留学した我が国の技
術者達が、ヨーロッパ・アルプ
ス地方で発展した山岳砂防工学
のノウハウを導入した時から始
まりました。

大正七(一九一八)年の夏、
内務省東京第一土木出張所稲荷
川工場が設置され、稲荷川で国
直轄の砂防工事に着手しまし
た。その後、砂防工事区域は日
光地域を流れる大小の河川は勿
論のこと、現在では男体山の
大薮に代表されるような山腹砂防
工事にもまで拡大されています。

▼土石流については、平成八年
度現在、国や県の手で奥日光地
区から小来川・滝ヶ原地区に至
る日光全地域の土石流危険箇所
にたいして、大小の谷止工や流
路工、植栽その他、様々な対策

工事を実施しています。また、
日光市も昭和五十五年(一九八〇)
から「地域防災計画」を策定し、そ
の中で集中豪雨や地震の際に土
石流・崖崩・落石・浸水・雪崩
などのおそれのある市内全域の
危険箇所をあげ、警戒し防災に
努めています。

市民の皆さん一人一人も日頃
からしっかりと防災意識を持
ち、地域住民が助け合って災害
に対処できるよう、もう一度ご
自分の身辺を点検し、対策を考
えておきましょう。



上流土留め工 (H.8・7・14撮影)
平成7年度建設 7合目付近